

事業所名

ミライフルキッズデイサービス八戸中居林

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

12 月

2 日

法人（事業所）理念		①同じ志を持った仲間と常識革命 ②常に慢心せず永遠なる挑戦 ③限界のお客様第一主義を追求										
支援方針		①遊びながら学べる療育支援 ②季節を大切にした療育支援 ③個別支援の実現 ④感覚統合両方を踏まえた療育 ⑤切れ目のない将来を見据えた体験型支援										
営業時間		授業終了後 休日	9 8	時 00	00 00	分から 18 17	時 00	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●健康状態の維持・改善 ●生活リズムや生活習慣の形成 ●基本的な生活スキルの獲得 ⇒来所時、毎回検温。自分自身で検温表に、お熱を書きます。口頭での質問により、健康状態を確認します。料理やお菓子作りなどを通じた食育。時間に応じた行動の切り替え。構造化を意識した掲示物、各個人の障がい特性に応じた提示の仕方を工夫します。										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●姿勢と運動・動作の向上 ●姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ●遊戯や体操など自分の体が上手に使えるようになること ●手指運動（握る・つまむ・押す） ⇒早い下校の時は登所後、集団活動の中でラジオ体操、サーキットトレーニングなどの運動療育により筋力の維持・強化を図っています。ケガをしにくい体の使い方を習得します。感覚過敏な子に配慮した環境設定。視覚や聴覚、触覚（例えば目隠しをして手で触って形や物の名前をあてるゲームなど）を刺激するようなゲームやクイズ。										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●物事の理解 ●空間・時間・数等の概念形成の習得 ●場面にあった行動の習得など学習に繋がること。 ⇒プログラムの前に、子どもの中から司会者を選抜。そこで、一緒に日付・天気などを質問形式にしたり、提示をすることで数の概念の習得を図っています。ブロックなどの立体の造形物を使った活動。音楽やリズムを使って五感を刺激する活動。ビジョントレーニングなど。										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の気持ちを伝える力 ●相手の発信を受け止め理解する力・やり取りする力、共感する力など人とのコミュニケーションが上達すること ●中学生会議を通し、自分の考えを発言したり相手の意見を聞く ⇒プログラム中、5分以上はマンツーマンで支援を実施しています。指導員からの声掛けをしながら、言語を受容し表出する支援を行っています。集団活動においては、伝言ゲームをし正しく相手に伝える練習。あるいは、こんな時どうする？といった場面設定をし、子ども達からの考え方を引き出しています。自分の考えを発言したり好きなことをプレゼンテーションするなど。										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●他児との関り、仲間づくり（人間関係）の形成 ●自己理解と行動の統制 ●集中力・好きなことを見つける（趣味） ●嫌な事の対処法 ●ルールを守るなど社会の中で人と過ごす力を伸ばすこと ⇒早い下校の時は、登所後、集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援しています。カードゲームなどを取り入れています。また勝敗のあるゲームを取り入れ、仲間意識を培えるような活動を促しています。お友達の良い面にスポットを当てて紹介し他者を知るための活動。職業訓練や職場体験など。										
家族支援	利用している子どもの保護者に対して育成をサポートするための相談援助を行います。保護者会等を活用して、困り感の共有を図ります。時には外部講師を招くなどして、子育てに関する助言、サポートをします。とにかく保護者が、孤立しないよう、一人で抱え込まないよう声掛けをしたり、手紙を出したりしながらサポートします。 保護者参観を実施。				移行支援		利用している子どもが退所後、集団生活を営む場所、就労を見据えた支援を行います。また学生の期間、入学・進学・就職時等のライフステージの移行時に、ここは家族支援も踏まえながら対応します。					
地域支援・地域連携	地域の方と一緒に奉仕活動などを行っています。地域の中の公園のゴミ拾いなども行っています。切れ目のない支援として、学校や、働く場所等の関係機関や併用している放課後等デイサービスの事業所と連携をし、子どもや家族の支援をしていきます。				職員の質の向上		行政からの研修は勿論ですが、それ以外の研修にも目を向けて実践していきます。常に学ぶ姿勢を持ち、取り組んでいます。よりよい支援が出来るように、外部研修も取り入れていきたいと思えます。					
主な行事等	季節に応じた行事（花見・七夕製作・地域の行事参加・ハロウィーン・クリスマス会・正月の書初めなど） 子ども達からの要望を受けた工場や施設見学会 ※基本、子ども達から、こんなことしてみたい、こんな体験をしたいという声を大切にして、行事と学習を兼ね合わせた活動を組んでいます。											